

# 必修問題

## 目標 I 看護の社会的側面および倫理的側面について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴	
1. 健康の定義と理解	A. 健康の定義	a. 世界保健機関(WHO)の定義	公衆衛生学 1編-1章-I-B-2-③ 健康の享受と基本的人権 (P7~8), I-D-1 健康の定義の2つの面 (P9~13), 2編-11章-III-B-1 WHOによる健康の定義 (P335~336), 関係法規 1章-III-B-2-2)-3) 国際機関 (P16~17)		
		b. ウェルネスの概念	公衆衛生学 1編-1章-I-D-1 健康の定義の2つの面 (P9~13)		
	B. 健康に関する指標	a. 総人口	公衆衛生学 1編-3章-I-A 世界における人口の動向 (P84~86), I-B わが国における人口の動向 (P86~88), 人口静態統計 (P89~90)	104-AM-1, 102-AM-1	
		b. 年齢別人口	公衆衛生学 1編-3章-II-A 人口静態統計 (P89~90)	105-AM-1, 104-PM-7	
		c. 労働人口	公衆衛生学 1編-3章-I-B-2 人口構造の変化 (P87~88), 2編-9章-C-1 労働者の就業状況 (P307)		
		d. 将来推計人口	現代医療論 2章-III-A-4 少子化の状況と取り組み (P76~80), 公衆衛生学 1編-3章-I-B-1 わが国の人口の将来予測 (P87~88),		
		e. 世帯数	公衆衛生学 1編-3章-III-C 少子高齢化の公衆衛生的課題 (P107~108), 4章-I-C-1-② 国民生活基礎調査 (P112~114)	103-PM-6*, 102-PM-9*	
		f. 婚姻、家族形態	公衆衛生学 1編-3章-II-B-5 婚姻と離婚 (P97), III-C 少子高齢化の公衆衛生的課題 (P107~108), 4章-I-C-1-① 人口動態調査 (P112~114), I-C-1-② 国民生活基礎調査 (P112~114), 社会福祉 7章-I-A-3 核家族化と高齢者世帯の増加 (P204~205)	104-PM-8	
		g. 出生と死亡の動向	公衆衛生学 1編-3章-II-B-1 出生 (P92), II-B-2 死亡率・死因 (P92~95), II-B-3 死産, 周産期死亡, 乳児死亡 (P95~96), 4章-I-C-1-① 人口動態調査 (P112~114)	106-PM-1, 104-PM-1, 103-AM-1, 102-AM-21	
		h. 死因の概要	公衆衛生学 1編-3章-II-B-2 主要死因別にみた死亡率 (P93~95), 年齢別死因構造の現状 (P95), 4章-I-C-1-① 人口動態調査 (P112~114)	104-PM-2, 102-AM-8	
		i. 平均余命、平均寿命	公衆衛生学 1編-3章-II-C 生命表と平均寿命 (P97~99), 4章-I-C-1-① 人口動態調査 (P112~114), II 健康指標 (P116~117)	105-PM-1, 103-AM-2, 102-PM-1	
	C. 受療状況	a. 有訴者の状況	公衆衛生学 1編-4章-III-C-2 有病率 (P118~119), 2編-4章-A-1 高齢者の有訴者率, 日常生活に影響のある者率 (P228~229), 老年看護学① 4章-II-A-1 社会現象としての高齢社会 (P88~89)	106-AM-1	
		b. 有病率、罹患率	公衆衛生学 1編-4章-III-C-1 罹患率 (P118), III-C-2 有病率 (P118~119)		
		c. 受療行動、受療率	公衆衛生学 1編-4章-I-C-1-④ 受療行動調査 (P112~114)		
		d. 入院期間	公衆衛生学 1編-4章-III-C-3 有病期間 (P119)		
		e. 外来受診の状況	公衆衛生学 1編-4章-I-C-1-③ 患者調査 (P112~114), I-C-1-④ 受療行動調査 (P112~114), IV-E 傷病統計の実際 (P120~121)	106-PM-2, 105-PM-8, 104-PM-2	
	2. 健康に影響する要因	A. 生活行動・習慣	a. 食事と栄養	栄養生化学 2章-I 食物と栄養 (P22~27), 公衆衛生学 1編-2章-IV-A 健康づくりと食 (P69~73), 2編-3章-D-2 栄養と食生活 (P212~213)	105-AM-10

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2. 健康に影響する要因	A. 生活行動・習慣	b. 排泄	基礎看護学④ 4章-IV-B 栄養・排泄が障害されるということ (P147)	102-AM-2*
		c. 活動と運動、レクリエーション	公衆衛生学 2編-3章-D-3 身体活動・運動 (P213~214), 現代医療論 2章-III-C-2 健康づくりと身体活動・運動習慣 (P95~102)	103-PM-25
		d. 休息と睡眠	現代医療論 2章-III-C-3 健康と休養・睡眠 (P102~103), 公衆衛生学 2編-3章-D-4 休養 (P214)	
		e. 清潔と衣生活	基礎看護学③ 5章 清潔・衣生活の援助技術 (P138~175)	
		f. 喫煙、嗜好品	現代医療論 2章-III-C-4 健康と喫煙 (P103~108), 公衆衛生学 2編-3章-D-6 喫煙・飲酒 (P216~217)	105-PM-2
		g. ストレス	公衆衛生学 2編-3章-A 成人期の生活と健康 (P210), B こころとからだの健康づくりの概要 (P210~211), C 健康増進活動と健康日本21 (P211~212)	
		h. メンタルヘルス	公衆衛生学 2編-3章-D-5 メンタルヘルスケア: 自殺対策 (P215~216)	
		i. ライフスタイル	社会福祉 1章-III ライフスタイル (P11~15)	
	j. 性行動	母性看護学① 1編-3章-II-C 性意識 (P75~77), II-D 性行動 (P77~82)		
	B. 生活環境	a. 水質、大気、土壌	公衆衛生学 1編-2章-II-A-1 呼吸物質としての空気 (P37~38), II-A-2 空気と体温調節 (P38~40), II-A-3 気候 (P40), II-A-5 放射線 (P41~44), II-A-6 水 (P44~47)	106-PM-3
		b. 食品衛生	公衆衛生学 1編-2章-VI-B 健康の維持と食品保健 (P73~78)	104-PM-3
		c. 住環境	公衆衛生学 1編-2章-V 居住環境の生活衛生 (P64~68)	106-AM-20
	C. 社会環境	a. 職業と疾病	公衆衛生学 2編-9章-D-2 産業保健に特有の健康問題と対策 (P314~317), 成人①成人概論 2章-II-B-1 社会の変遷に伴う働きかたの変化 (P45~48)	105-AM-3, 102-PM-2
		b. 労働環境、雇用形態	関係法規 9章-A 労働基準法 (P176~184), 成人①成人概論 V-C 働くことと生活 (P53~61)	103-AM-3
c. ワーク・ライフ・バランス		公衆衛生学 9章-E 産業保健の課題と展望 (P317~318)		
d. 母性保護		公衆衛生学 2編-2章-B-2 母子への保健指導・訪問指導 (P200~201), 9章-E 産業保健の課題と展望 (P317~318)		
3. 看護で活用する社会保障	A. 医療保険制度の基本	a. 医療保険の種類	現代医療論 4章-III-B 医療保険 (P187~190), III-C 老人医療 (P191), 社会福祉 3章-II-B 医療保険制度の種類と適用対象者 (P38~40)	
		b. 国民皆保険	社会福祉 3章-II 医療保険制度 (P36~48), 関係法規 7章-A 健康保険法 (P142~145), B 国民健康保険法 (P145~147)	105-AM-32, 104-AM-3, 102-AM-3
		c. 国民医療費	現代医療論 4章-III-E 国民医療費の動向 (P193~195), III-F-2 医療の現状, 将来予測と適正化 (P196~200), 社会福祉 3章-V-D 国民医療費 (P64~65)	106-AM-3, 105-AM-32, 104-AM-3, 102-AM-3
		d. 高齢者医療制度	現代医療論 4章-III-C 老人医療 (P191), 社会福祉 3章-III 高齢者医療制度等 (P48~53)	106-PM-4
		e. 給付の内容	現代医療論 4章-III-B-2 被用者保険 (P187~189), 社会福祉 3章-II-C 医療保険制度の給付 (P40~46)	
	B. 介護保険制度の基本	a. 保険者	社会福祉 3章-VI-C-2 保険者 (P72)	
		b. 被保険者	公衆衛生学 2編-4章-E-1 介護保険制度の概要 (P232), 社会福祉 3章-VI-C-3 被保険者の範囲 (P72)	106-AM-4, 102-PM-3

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3. 看護で活用する 社会保障	B. 介護保険制度の基本	c. 給付の内容	公衆衛生学 2編-4章-E-3 介護保険制度におけるサービスなどの内容 (P233~237), 社会福祉 3章-VI-E 保険給付の概要 (P76~79)	105-AM-4, 104-PM-9
		d. 要介護・要支援の認定	公衆衛生学 2編-4章-E-2 介護保険制度利用のプロセス (P233), 社会福祉 3章-VI-D-1 要介護・要支援認定 (P73~75)	105-PM-9, 104-PM-4, 103-PM-3
		e. 地域支援事業	公衆衛生学 2編-4章-B 高齢者の保健医療福祉施策の推移 (P230~231), E-3-③ 地域支援事業におけるサービス (P234~237), F 地域包括ケアシステム (P237), 社会福祉 3章-VI-F 地域支援事業等 (P79~80), H-2 地域支援事業 (P82)	
4. 看護における倫理	A. 基本的人権の擁護	a. 個人の尊厳	基礎看護学① 6章-I-B-3 倫理の起点としての基本的人権 (P217~221)	
		b. 患者の権利	基礎看護学① 6章-III-B-2 患者の権利の保護 (P255~256)	
		c. 自己決定権と患者の意思	基礎看護学① 6章-II-B-4 インフォームドコンセントと自己決定権 (P235~236)	
		d. インフォームド・コンセント	基礎看護学① 6章-II-B-4 インフォームドコンセントと自己決定権 (P235~236)	104-AM-4, 102-AM-4
		e. ノーマライゼーション	社会福祉 1章-I-D-3-1) ノーマライゼーション (P6)	103-AM-5
		f. 情報管理 (個人情報保護)	基礎看護学① 6章-III-A-4 プライバシーに関する職業としての看護 (P253~254)	
	B. 倫理原則 106-PM-5, 102-PM-4	a. 自律尊重	基礎看護学① 6章-III-B-3 専門職としての自己啓発 (P253~254), V 看護師の倫理綱領 (P261~264)	
		b. 善行	基礎看護学① 6章-III-B-3 専門職としての自己啓発 (P253~254), V 看護師の倫理綱領 (P261~264)	
		c. 公正、正義	基礎看護学① 6章-III-B-3 専門職としての自己啓発 (P253~254), V 看護師の倫理綱領 (P261~264)	
		d. 誠実、忠誠	基礎看護学① 6章-III-B-3 専門職としての自己啓発 (P253~254), V 看護師の倫理綱領 (P261~264)	
		e. 無危害	基礎看護学① 6章-III-B-3 専門職としての自己啓発 (P253~254), V 看護師の倫理綱領 (P261~264)	
	C. 看護師等の役割	a. 説明責任	基礎看護学① 6章-III 看護職に求められる倫理 (P245~256)	
		b. 倫理的配慮	基礎看護学① 6章-III 看護職に求められる倫理 (P245~256)	
		c. 権利擁護 (アドボカシー)	基礎看護学① 6章-III 看護職に求められる倫理 (P245~256)	
		d. エンパワメント	基礎看護学① 6章-III 看護職に求められる倫理 (P245~256)	
5. 看護に関わる基本的 法律	A. 保健師助産師看護師法	a. 保健師助産師看護師の定義	関係法規 2章-I-A-5 業務 (P30~34), <別巻>管理・研究・制度 3章-①-A-1 保健師助産師看護師法の概要 (P108~111)	106-AM-45, 103-PM-4
		b. 保健師助産師看護師の業務	関係法規 2章-I-A-5-2-3) 医行為の禁止 (業務の範囲) (P31~32), <別巻>管理・研究・制度 3章-①-A-1 保健師助産師看護師法の概要 (P108~111)	105-PM-5
		c. 保健師助産師看護師の義務(守秘義務、業務従事者届出の義務、臨床研修等を受ける努力義務)	関係法規 2章-I-A-5-2-6) 業務上の秘密を守る義務 (P33~34), <別巻>管理・研究・制度 3章-①-A-1 保健師助産師看護師法の概要 (P108~111)	106-AM-5, 103-PM-8

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
5. 看護に関わる基本的法律	A. 保健師助産師看護師法	d. 養成制度	現代医療論 4章-II-D-3 看護師 (P180~183), <別巻>管理・研究・制度 3章-②-B-4-2 養力力の強化・促進 (P147~148), ③-A 看護職の養成制度の実際 (P190~194)	
	B. 看護師等の人材確保の促進に関する法律	a. 基本方針	関係法規 2章-I-B 看護師等の人材確保の促進に関する法律 (P38~40), <別巻>管理・研究・制度 3章-②-B-4 看護職員確保対策 (P147~150)	102-AM-5
		b. ナースセンター (就業状況)	現代医療論 4章-II-D-3 看護師 (P180~183), <別巻>管理・研究・制度 3章-③-B-1 就労看護職数の推移 (P137~143)	

## 目標 II

### 看護の対象および看護活動の場と看護の機能について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
6. 人間の特性	A. 人間と欲求	a. 基本的欲求	基礎看護学④ 序章-II-A 医療を提供する場 (P5~6)	102-PM-5
		b. 社会的欲求	在宅看護論 2章-I-A-1 社会的承認欲求 (P43~46)	104-PM-5
	B. 対象の特性	a. QOL	基礎看護学④ 1章-II-C-2 クオリティ・オブ・ライフ (QOL) (P27~28), 成人①成人概論 5章-I-I-1 ヘルスプロモーション (P224)	
		b. ニーズ	基礎看護学① 4章-I-A 対象者のニーズの充足 (P148~150), 基礎看護学④ 3章-II-C-1 患者のニーズの充足 (P62~63)	105-AM-36
		c. 健康や疾病に対する意識	現代医療論 2章-I-B 健康のとらえ方と健康 (P33~35), 基礎看護学① 3章-I-C 健康障害を抱えた人の理解 (P114~122), 基礎看護学④ 1章-III-C 経験としての病: 病の語り, 病むことの意味 (P35~36), 成人①成人概論 5章-I-I-2 ヘルスリテラシー (P225)	
d. 疾病・障害の受容	基礎看護学④ 3章-IV-C-2 疾病の受容過程 (P84), 成人①成人概論 5章-IV-A-3 障害の受容 (P280~282), <別巻>リハビリ看護 4章-II-A-2 障害受容 (P125~130)			
7. 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	A. 胎児期	a. 形態的発達と異常	小児看護学② 5章-II 先天異常 (P197~203), 母性看護学② 3編-1章-I-C-1-2)胎児の形態発育 (P16), III-M 胎児の形態異状 (P85~90), 4編-1章-I-B 異常の予測 (P300~301)	102-AM-6
	B. 新生児・乳児期	a. 発達の原則	小児看護学① 6章-II-B 発達の原則 (P134~137)	
		b. 身体の発育	小児看護学① 6章-IV 小児の生活を支える成長と機能の発達 (P145~160)	106-AM-6, 105-PM-6, 102-PM-6
		c. 運動能力の発達	小児看護学① 6章-V-A-1 動く機能の発達 (P160~165)	103-AM-6
		d. 栄養	小児看護学① 6章-V-C-1 子どもの栄養 (P173~175)	106-PM-21
		e. 親子関係	小児看護学① 4章-II 母子関係に関する概念と理論 (P92~96)	104-PM-6, 102-PM-8
	C. 幼児期	a. 身体の発育	小児看護学① 6章-IV 小児の生活を支える成長と機能の発達 (P145~160)	102-AM-7, 102-PM-7
		b. 運動能力の発達	小児看護学① 6章-V-A 動く (P160~167)	
		c. 言語の発達	小児看護学① 6章-V-F 見る・聞く・話す (P196~201)	
		d. 社会性の発達	小児看護学① 6章-V-H 人とかかわる (P210~216)	
		e. 基本的生活習慣の確立	小児看護学① 6章-V-B 眠る (P167~173), V-C 食べる (P173~184), V-D 排泄する (P184~190), V-E 身だしなみを整える (P190~196)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
7. 人間のライフサイクル各期の特徴と生活	D. 学童期	a. 運動能力の発達、体力の特徴	小児看護学① 6章-V-A-1 動く機能の発達 (P160~165)	
		b. 社会性の発達	小児看護学① 6章-V-H 人とかかわる (P210~216)	
		c. 学習に基づく行動	小児看護学① 6章-V-G 感じる・考える (P201~210), V-I 遊ぶ・学ぶ (P216~225)	
	E. 思春期	a. 第二性徴	小児看護学① 6章-IV-4-1) 形態的成長—第2次性徴と身体の急激な変化 (P240), V-J-3-1) 身体の変化 (第2次性徴)への出会いと受け止め (P228~230)	106-AM-7, 103-PM-5
		b. アイデンティティの確立	小児看護学① 6章-VI-4-2 感じる・考える・人とかかわる「疾風怒濤」の時期 (P240)	103-PM-24
		c. 親からの自立	小児看護学① 6章-V-H-1-1) 大人との関係 (P210~212)	104-AM-6
		d. 異性への関心	小児看護学① 6章-V-J-3-2) 性をもつ自己としての生き方の模索 (P230), 精神看護学① 3章-III-E-1-3) 青年前期の仲間形成と異性関係 (P56)	
	F. 成人期	a. 社会的責任と役割	成人①成人概論 1章-I-A 「成人」の定義 (P2~4)	
		b. 生殖機能の成熟と衰退	成人①成人概論 1章-II-B-1-2 生殖機能の変化 (P20~22)	103-AM-7
		c. 基礎代謝の変化	成人①成人概論 1章-II-B-1 身体的特徴 (P18~19)	
	G. 老年期 105-PM-7	a. 身体的機能の変化	老年看護学① 1章-II-C 身体的機能の加齢性変化と日常生活への影響 (P6~17)	106-AM-8, 105-AM-13
		b. 認知能力の変化	老年看護学① 1章-III 高齢者の知的機能・認知機能の特徴 (P18~19)	104-AM-7
c. 心理社会的変化		老年看護学① 1章-IV 高齢者の心理的特徴 (P19~22)		
8. 看護の対象としての患者と家族	A. 家族の機能	a. 家族関係	基礎看護学① 3章-II-A 個人にとっての家族 (P122~124), II-B 個人の健康問題と家族 (P124~133)	
		b. 家族構成員	基礎看護学① 3章-II-A 個人にとっての家族 (P122~124), II-B 個人の健康問題と家族 (P124~133)	103-PM-6*, 102-PM-9*
		c. 疾病が患者・家族に与える心理・社会的影響	基礎看護学① 3章-II-A 個人にとっての家族 (P122~124), II-B 個人の健康問題と家族 (P124~133)	
	B. 家族形態の変化	a. 家族の多様性	基礎看護学① 3章-II-A 個人にとっての家族 (P122~124), II-B 個人の健康問題と家族 (P124~133)	102-AM-10
		b. 構成員の変化	基礎看護学① 3章-II-A 個人にとっての家族 (P122~124), II-B 個人の健康問題と家族 (P124~133)	
9. 主な看護活動の場と看護の機能	A. 看護活動の場と機能	a. 病院	社会福祉 3章-V-A 医療提供施設 (P57~61)	
		b. 診療所	社会福祉 3章-V-A 医療提供施設 (P57~61)	
		c. 助産所	社会福祉 3章-V-A 医療提供施設 (P57~61)	
		d. 訪問看護ステーション	在宅看護論 2章II-C 訪問看護ステーション (P66~69)	
		e. 介護保険施設	社会福祉 3章-V-A 医療提供施設 (P57~61), 在宅看護論 7章-II-B-4)施設サービス (P270~272)	106-PM-9, 104-AM-8
		f. 地域包括支援センター	公衆衛生学 2編-4章-E-3-② 予防給付におけるサービス (P233, 235, 236), 社会福祉 3章-VI-F-2 地域包括支援センター (P79~80)	103-PM-7
		g. 市町村	公衆衛生学 2編-1章-F-2-④ 市町村保健センター (P190~191)	103-AM-8
		h. 保健所	公衆衛生学 2編-1章-F-2-③ 保健所 (P187~189)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
9. 主な看護活動の場と看護の機能	A. 看護活動の場と機能	i. 学校	公衆衛生学 2編-8章-II-D 学校保健教育 (P292~297), II-E-3 学校保健と地域の関係機関との連携 (P300)	
		j. 企業	公衆衛生学 2編-9章-D 職場における保健活動の実際 (P312~317)	
	B. 看護の機能と役割	a. 訪問看護	在宅看護論 2章-II 訪問看護の制度と機能 (P63~77)	
		b. チーム医療	統合と実践①マネジメント 2章 看護師のチームワークとコミュニケーション (P17~46), <別巻>管理・研究・制度 1章-⑥-B チーム医療 (P42~44), 3章-②-D-3-3 交代勤務 (P176~179), 4章-I-A チーム医療とは (P64~65), I-D-1 チームにおける看護師の役割と責任 (P67~69)	106-PM-10, 104-AM-9
		c. 退院調整	老年看護学① 5章-I-B 退院支援と退院調整 (P185~186)	
		d. 入院のオリエンテーション(入院相談)	成人①成人概論 6章-II-1-1 入院時アセスメントの実施 (P344~346)	
		e. 地域医療連携	在宅看護論 4章-III-C-3 地域リハビリテーションの内容, <別巻>管理・研究・制度 1章-VII-A 医療機関の機能分化と連携 (P46)	
f. 家族との調整	統合と実践①マネジメント 3編-8章-I-B-2 (P130)			

## 目標Ⅲ

看護に必要な人体の構造と機能および健康障害と回復について基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
10. 人体の構造と機能	A. 人体の基本的な構造と正常な機能	a. 内部環境の恒常性	解剖生理学 2章-III 細胞の生理学 (P36~37), 生物学 5章 からだの恒常性の維持 (P115~163)	106-PM-8, 102-AM-13
		b. 神経系	解剖生理学 13章 中枢神経系 (P360~399), 14章 末梢神経系 (P402~425), 成人⑥脳・神経 1編-1章 脳・神経系の構造と機能 (P9~40), 生物学 5章-② 神経系とその働き (P140~151)	106-AM-14, 106-PM-11
		c. 運動系	解剖生理学 4章 骨格系 (P78~114), 5章 筋系 (P116~154), 成人①運動器 1編-2章 運動器の構造と機能 (P19~36)	
		d. 感覚器系	解剖生理学 15章 感覚器 (P428~474)	
		e. 循環器系	解剖生理学 12章 循環器系 (P316~358), 成人③循環器 1編-1章 循環器の構造と機能 (P14~52), 生物学 5章-①-B 血液の循環 (P117~120)	106-AM-11, 105-AM-27, 103-AM-24
		f. 血液、体液	解剖生理学 2章-IV 血液・体液・電解質 (P38~59), 生物学 5章-①-A 内部環境としての体液 (P116~117)	105-AM-28, 102-PM-10
		g. 免疫系	解剖生理学 2章-IV-A-2-4-2)白血球の働き (P43~44), 生物学 5章-①-D 血液によるからだの防衛 (P120~139)	104-AM-10
		h. 呼吸器系	解剖生理学 3章 人体-特徴と成り立ち (P62~75), 成人②呼吸器 1編-1章 呼吸器の構造と機能 (P11~38), 生物学 4章-③-A 肺によるガス交換 (P87~92)	
		i. 消化器系	解剖生理学 6章 消化器系 (P156~198), 成人⑤消化器 1編-1章 消化器の構造と機能 (P11~41), 生物学 4章-②-B 消化のみちすじ (P75~86)	103-PM-9
		j. 栄養と代謝系	解剖生理学 6章-II 栄養と消化・吸収の生理学	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
10. 人体の構造と機能	A. 人体の基本的な構造と正常な機能	k. 泌尿器系	解剖生理学 8章 泌尿器系 (P232~254), 成人⑦腎・泌尿器 1編-1章 腎・泌尿器の構造と機能 (P11~27)	105-PM-10, 103-AM-10
		l. 体温調節	解剖生理学 14章-II-C 体温調節 (P424~425), 生物学 5章-③-B-4 体温の恒常性 (P162~163)	104-PM-11
		m. 内分泌系	解剖生理学 11章 内分泌系 (P290~314)	105-AM-11, 105-AM-26, 105-AM-29
		n. 性と生殖器官系	解剖生理学 9章 生殖器官系 (P258~275), 10章 発生学 (P278~287), 成人⑦腎・泌尿器 1編-1章-IV 男性生殖器官の構造と機能 (P25~27), 成人⑩女性生殖器官 1編-1章 女性生殖器官の構造と機能 (P17~47), 生物学 7章-①-A 精子の形成 (P182~184), ①-B 卵子の形成 (P184~187)	105-AM-30, 104-AM-5
		o. 妊娠・分娩・産褥の経過	母性看護学② 3編-1章-I-A 妊娠の定義 (P10~11), I-B 妊娠のメカニズム (P11~16), I-C 胎児の成長・発達 (P16~26), I-D 妊娠時の母体の変化 (P26~32), 2章-I 分娩の生理 (P98~118), 3章-I 産褥の経過 (P160~171)	106-PM-6, 105-AM-6, 104-AM-11, 102-AM-11
		p. 遺伝	栄養生化学 10章 遺伝子の生化学 (P167~183), 生物学 9章 遺伝 (P209~259)	
	B. 人間の死	a. 死の三徴候	基礎看護学② 3編-2章-II-A-2-1 心臓死と脳死 (P362)	103-PM-10
		b. 死亡判定	基礎看護学② 3編-2章-II-A-2-1 心臓死と脳死 (P362)	
		c. 脳死	基礎看護学② 3編-2章-II-A-2-1 心臓死と脳死 (P362)	
		d. 死の受容	基礎看護学① 1章-III-B-4 死の受容とその支え (P35~39)	106-PM-12
	11. 疾患と徴候	A. 主要な症状と徴候 105-AM-103, 102-AM-22	a. 意識障害	基礎看護学④ 4章-IV 意識が障害されるということ (P168~180), 5章-II-B-2-4 ● ショック (P243), 成人⑥脳・神経 1編-2章-I 意識障害, 失神 (P42~48), 2編-2章-1 意識障害 (P334~347), <別巻>機能障害④脳・神経 2章-A 意識障害 (P34~45)
b. ショック			病理学 6章-⑤-C ショック (P72), 成人③循環器 1編-2章-I-E ショック (P63~64), 2編-2章-E ショック (P342~344), <別巻>病態と診療 1章-⑥-C-2 ショック (P26~27)	105-PM-12, 103-PM-11
c. 高体温、低体温			成人看護学⑨感染症 1編-2章-A 発熱 (P22), 2編-2章-I 発熱 (P98~100), <別巻>機能障害③体温 2章-A 高体温 (発熱とうつ熱) (P24~29), B 低体温 (P29~32)	104-PM-13
d. 脱水			成人⑦腎・泌尿器 2編-2章-B 脱水 (P234~236)	
e. 黄疸			病理学 2編-5章 I-A-2 黄疸 (P217~218), 成人⑤消化器 1編-2章-II-A 黄疸 (P64), 2編-2章-II-A 黄疸 (P405~408)	103-AM-12, 102-PM-11
f. 頭痛			成人⑥脳・神経 1編-2章-V 頭痛 (P68~70), 2編-2章-IV 頭痛 (P371~375)	104-AM-13
g. 咳嗽、喀痰			成人②呼吸器 1編-2章-B 咳 (P45~49), C 痰 (P49~51), 成人③耳鼻咽喉 1編-2章-IV-D 咳嗽 (P48~49), IV-E 喀痰, 血痰 (P49), <別巻>機能障害①呼吸 2章-B 咳嗽 (咳)・喀痰 (痰) (P52~59)	105-PM-13
h. 吐血、咯血			成人②呼吸器 1編-2章-D 血痰・咯血 (P52~54), 2編-2章-C 血痰・咯血 (P316~318), 成人⑤消化器 1編-2章-I-H 吐血・下血・血便 (P54~57), 2編-2章-I-F 吐血・下血 (P395~398), <別巻>機能障害①呼吸 2章-C 血痰・咯血 (P59~64), <別巻>機能障害②消化・吸収 2章-G 吐血・下痢 (P69~72)	106-AM-12
i. チアノーゼ			成人②呼吸器 1編-2章-F チアノーゼ (P59~61), 成人③循環器 1編-2章-II-B チアノーゼ (P67~68), 2編-2章-F チアノーゼ (P344~346), <別巻>機能障害①呼吸 2章-A-2-1 呼吸困難の程度の把握 (P41~42)	104-PM-14, 102-AM-12

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴	
11. 疾患と徴候	A. 主要な症状と徴候	j. 呼吸困難	成人②呼吸器 1編-2章-A 呼吸困難 (P40~45), 2編-2章-A 呼吸困難 (P304~312), 成人③循環器 1編-2章-I-B 呼吸困難 (P57~59), 2編-2章-B 呼吸困難 (P334~338), <別巻>機能障害①呼吸 2章-A 呼吸困難 (P39~52)	104-AM-14, 103-PM-12	
		k. 胸痛	成人②呼吸器 1編-2章-E 胸痛 (P54~59), 成人③循環器 1編-2章-I-A 胸痛 (P54~57), <別巻>機能障害①呼吸 2章-D 胸痛 (P64~70), <別巻>機能障害①循環 2章-A 胸痛 (P182~187)	106-AM-13	
		l. 不整脈	成人③循環器 1編-4章-II 不整脈 (P177~197), 2編-4章-VIII 不整脈患者の看護 (P417~419), <別巻>機能障害①循環 2章-C 不整脈 (P193~199)	105-AM-14, 104-AM-12	
		m. 腹痛、腹部膨満	成人⑤消化器 1編-2章-I-1-I 腹痛 (P57~61), I-J 腹部膨満 (P61~63), 2編-2章-I-G 腹痛 (P398~402), I-H 腹部膨満 (P402~404), <別巻>機能障害②消化・吸収 2章-H 腹痛 (P73~77), I 腹部膨満 (P77~80)	102-PM-22	
		n. 悪心、嘔吐	成人⑤消化器 1編-2章-I-E 悪心・嘔吐 (P47~49), 2編-2章-I-C 悪心・嘔吐 (P384~387), <別巻>機能障害②消化・吸収 2章-C 嘔吐 (P53~56)	103-AM-13	
		o. 下痢	成人⑤消化器 1編-2章-I-H 吐血・下血・血便 (P54~57), 2編-2章-I-D 下痢 (P387~390), I-F 吐血・下血 (P395~398)		
		p. 便秘	成人⑤消化器 1編-2章-I-G 便秘 (P52~54), 2編-2章-I-E 便秘 (P391~395), <別巻>機能障害②消化・吸収 2章-F 便秘 (便の排出障害) (P64~68)		
		q. 下血	成人⑤消化器 1編-2章-I-H 吐血・下血・血便 (P54~57), 2編-2章-I-F 吐血・下血 (P395~398), <別巻>機能障害②消化・吸収 2章-G 吐血・下血 (P69~72)	106-PM-13	
		r. 乏尿、無尿、頻尿、多尿	解剖生理学 8章-II-D-1 尿の一般的性質 (P248~251), 成人⑦腎・泌尿器 1編-3章-II-A-2-1 乏尿、無尿 (P58), II-A-1 頻尿 (P40~41), II-A-2 夜間頻尿 (P41), 2編-2章-F-2-5 頻尿や尿意切迫感による転倒・転落予防, 尿失禁の予防のための援助 (P245)	106-PM-14, 103-PM-13	
		s. 浮腫	病理学 1編-6章-V-B 浮腫 (P76~77), 成人③循環器 1編-2章-II-A 浮腫 (P66~67), 2編-2章-D 浮腫 (P341~342), 成人⑦腎・泌尿器 1編-2章-I-A 浮腫 (P30~34), <別巻>機能障害①循環 2章-F 浮腫 (P208~211)	105-PM-14	
		t. 貧血	病理学 2編-2章-I-B-1 貧血 (P180~183), 成人④血液・造血器 1編-2章-A 貧血 (P36~40), 2編-2章-A 貧血 (P176~182)	105-PM-15, 104-PM-15, 102-PM-12	
		u. 睡眠障害	成人⑥脳・神経 1編-2章-XII 睡眠障害 (P99~100)		
		v. 感覚過敏・鈍麻	成人⑥脳・神経 1編-2章-X 感覚異常 (P90~95)	102-PM-13	
		w. 運動麻痺	成人⑥脳・神経 1編-2章-IV-A 運動麻痺 (P58~60), 2編-2章-III-B-1 運動麻痺, 不随意運動のある患者のアセスメント (P360~362), <別巻>機能障害④脳・神経 2章-B 運動麻痺 (P45~53)		
		x. けいれん	成人⑥脳・神経 1編-2章-IV-C 痙攣 (P61), 2編-2章-III-A 痙攣 (P355~359)		
		y. 気分<感情>障害	基礎看護学④ 4章-VII-D-2-2 気分障害 (P190~195), 小児看護学② 7章-XV-B 気分障害: うつ病 (P605~606), 精神看護学② 3章-II-D 抑うつ障害群 (P83~91)		
		B. 主要な疾患による健康障害と基本的な回復過程	a. 生活習慣病	成人①成人概論 5章-I-3 生活習慣病の予防と早期発見・治療・合併症予防 (P231~233)	104-AM-15, 103-AM-14, 102-AM-2
			b. がん	成人①成人概論 5章-VI-A-1 がんという疾患の理解 (P309~310)	102-AM-14



大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
11. 疾患と徴候	B. 主要な疾患による健康障害と基本的な回復過程	c. 感染症	基礎看護学② 2編-4章-I 感染と感染予防策の基礎知識 (P230~237)	106-AM-2, 106-PM-16, 106-PM-22, 105-PM-20, 103-PM-15, 102-PM-14
		d. 精神疾患	基礎看護学④ 4章-VII 精神が障害されるということ (P180~196)	102-PM-23
		e. 小児の疾患	病理学 2編-14章 小児の疾患 (P330~336)	
		f. 高齢者の疾患	老年看護学① 1章-IV-C 老化と老年病 (P26~29)	
	C. 基本的な臨床検査値の評価	a. 血液学検査	<別巻>臨床検査 4章-1 血液検査 (P48~72)	
		b. 血液生化学検査	成人③循環器 1編4章-I-5-1) 血液生化学検査 (P174~175)	
		c. 免疫血清学検査	<別巻>臨床検査 4章-1 血液検査 (P48~72)	
d. 尿検査		<別巻>臨床検査 3章-1 尿検査 (P24~37), 11章-6-B 尿検査 (P260~261)		
12. 薬物の作用とその管理	A. 主な薬物の作用と副作用(有害事象) 106-AM-16	a. 抗感染症薬	薬理学 2編8章-I-B 化学療法とは (P178~179), IV 抗ウイルス薬 (P189~190)	102-AM-15
		b. 抗癌薬	薬理学 2編-9章 抗腫瘍薬(抗がん剤) (P198~213)	104-PM-16
		c. 強心薬、抗不整脈薬	薬理学 2編-3章-IV 抗不整脈薬 (P108~110), VI 強心薬 (P112~115), 成人③循環器 1編-3章-III-A-1 カルシウム拮抗薬 (P102~103), A-6 強心薬・昇圧薬 (P107~108), A-9 抗不整脈薬 (P110~111)	103-PM-14
		d. 狭心症治療薬	薬理学 2編-3章-V 抗狭心症薬 (P110~112), 成人③循環器 1編-3章-III-A-2 硝酸薬 (P103)	106-PM-77
		e. 抗血栓薬	成人③循環器 1編-3章-III-A-7 抗血栓薬 (P109)	
		f. 降圧薬、昇圧薬	薬理学 2編-3章-III 降圧薬 (P101~107), 成人③循環器 1編-3章-III-A-6 強心薬・昇圧薬 (P107~108), A-10 合剤 (P110~111), 4章-XI-D-1-③-2) 降圧薬治療 (P281~284)	105-PM-17
		g. 利尿薬	薬理学 2編-3章-VII 利尿薬 (P109), 成人③循環器 1編-3章-III-A-4 利尿薬 (P105~106), A-8 心房性ナトリウム利尿ペプチド (ANP)製剤 (P110)	
		h. 消化性潰瘍治療薬	薬理学 2編-6章-I 消化性潰瘍治療薬 (P144~147)	
		i. 下剤	薬理学 2編-6章-IV-A 下剤 (P149)	
		j. 抗アレルギー薬	薬理学 2編-11章-I-D 抗アレルギー薬 (P231~234)	
		k. 副腎皮質ステロイド薬	薬理学 2編-10章-D 副腎皮質ステロイド(ステロイド性抗炎症薬) (P219~221)	105-AM-17, 102-PM-24
		l. 糖尿病治療薬	薬理学 2編-7章-VI 糖尿病治療薬 (P165~170)	104-AM-16
		m. 中枢神経作用薬	薬理学 2編-2章 中枢神経系作用薬 (P68~96)	
		n. 麻薬	薬理学 2編-2章-IV-A 強力鎮痛薬(オピオイド鎮痛薬) (P77~79)	
		o. 消炎鎮痛薬	薬理学 2編-10章 抗炎症薬・解熱鎮痛薬 (P216~225)	103-AM-15
		B. 薬物の管理	a. 禁忌	薬理学 1編-2章-III 薬物の相互作用 (P40~42), 成人③循環器 2編-3章-II-A-1-2) 内服管理において注意すべきこと (P363)
	b. 保存方法		薬理学 1編-序章-C 薬物治療における看護師の役割 (P6~7), 1章-F 薬と法律 (P20~22)	106-AM-17, 104-AM-17, 103-PM-16

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
12. 薬物の作用とその管理	B. 薬物の管理	c. 薬理効果に影響する要因	薬理学 1編-2章-I-C 分布・代謝・排泄 (P28~30), IV 小児・妊婦・授乳婦・高齢者の薬物療法 (P42~48), 成人③循環器 2編-3章-II-A-1-2) 内服管理において注意すべきこと (P363)	102-AM-23

## 目標Ⅳ 看護技術に関する基本的な知識を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴	
13. 看護における基本技術	A. コミュニケーション	a. 言語的コミュニケーション	基礎看護学② 2編-2章-V-C-1 言語的コミュニケーション (P170~171)		
		b. 非言語的コミュニケーション	基礎看護学② 2編-2章-V-C-2 非言語的コミュニケーション (P171~172)		
		c. 面接技法	基礎看護学② 1編-2章-I-A-3-1 面談による健康に関する反応・行動の観察 (P35~36), 2編-2章-VII 医療における信頼関係とコミュニケーション (P180~189)		
	B. 看護過程	a. 情報収集、アセスメント	基礎看護学① 5章-III-B 看護過程の段階①：アセスメント (P184~190), 基礎看護学② 1編-2章-I アセスメント (P30~41), <別巻>患者への適用 1章-③-A-3 情報収集の方法 (P11~13)	103-PM-17	
		b. 計画立案	基礎看護学① 5章-III-D 看護過程の段階③：看護計画の立案 (P192~198), 基礎看護学② 1編-2章-III 計画 (P43~47)		
		c. 実施	基礎看護学① 5章-III-E 看護過程の段階④：実施 (P198~201), 基礎看護学② 1編-2章-IV 実施 (P47~49)		
		d. 評価	基礎看護学① 5章-III-F 看護過程の段階⑤：評価 (P201~203), 基礎看護学② 1編-2章-V 評価 (P49~51)		
		e. 記録方式	基礎看護学② 1編-3章 看護記録 (P70~90)		
	C. フィジカルアセスメント	a. バイタルサインの測定	基礎看護学② 2編-1章-II-C-1 体温のアセスメント (P101~108), II-C-2 脈拍のアセスメント (P108~111), II-C-3 血圧のアセスメント (P111~118), II-C-4 呼吸のアセスメント (P118~121)	105-AM-39, 104-PM-19	
		b. 意識レベルの評価	基礎看護学② 2編-1章-II-C-5 意識状態のアセスメント (P121~122), 基礎看護学④ 4章-VI-A-2 意識障害の分類 (P169~171)	106-PM-18, 103-AM-11	
		c. 呼吸音聴取	基礎看護学② 2編-1章-II-E-2 呼吸器系のアセスメント (P133)		
		d. 腸蠕動音聴取	基礎看護学② 2編-1章-II-E-4 腹部・消化器系のアセスメント (P136~138)		
		e. 運動機能の観察	基礎看護学② 2編-1章-II-D-2 運動機能 (P122~129), 基礎看護学③ 4編-4章-II-B-3 ADL評価 (P102), <別巻>機能障害⑤運動 3章-①-B-2 脊柱の関節可動域 (ROM)テスト (P99~101), ①-C-6 下肢の関節可動域 (ROM)テスト (P108), ①-C-7 下肢の徒手筋力テスト (MMT) (P108)	104-AM-18, 103-AM-25	
	14. 日常生活援助技術	A. 食事	a. 食事の環境整備、食事介助	基礎看護学③ 4編-2章-II 食事・栄養摂取のアセスメント (P25~32), III-B 経口摂取できる患者の食事介助 (P34~37)	106-AM-18, 102-PM-15
			b. 誤嚥の予防	基礎看護学③ 4編-2章-III-B 経口摂取できる患者の食事介助 (P34~37)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
14. 日常生活援助技術	B. 排泄	a. 床上排泄	基礎看護学③ 4編-3章-Ⅲ 排泄の援助 (P62~71)	104-AM-19
		b. 導尿	基礎看護学③ 4編-3章-VI-C 一時的導尿 (P88~91), VI-D 持続的導尿 (留置カテーテル法) (P91~93)	104-PM-20, 102-AM-16
		c. 浣腸	基礎看護学③ 4編-3章-VI-A 浣腸 (P82~86)	106-PM-19, 103-AM-16, 102-PM-16
		d. 摘便	基礎看護学③ 4編-3章-VI-B 摘便 (P86~87)	
		e. 失禁のケア	基礎看護学③ 4編-3章-IV-C 便失禁 (P77~78), V-A 頻尿と尿失禁 (P79~81)	105-AM-18, 102-PM-25
	C. 活動と休息	a. 体位、体位変換	基礎看護学② 2編-6章-II 安楽な体位の保持 (P314~320), Ⅲ ボディメカニクスの基本 (P320~328), 基礎看護学③ 4編-4章-IV-A 体位変換 (P106~117)	106-PM-20, 102-AM-24
		b. 運動	成人③循環器 1編-3章-Ⅲ-H 心臓リハビリテーション (P164~166), 2編-3章-II-G 心臓リハビリテーション (P385~387)	
		c. 移動、移送	基礎看護学③ 4編-4章-IV-B 車椅子・ストレッチャーでの移動の援助 (P118~126), IV-C 座位保持・起立動作の援助 (P126~127), IV-D 歩行の援助 (P127~129)	105-AM-41, 103-AM-17
		d. ボディメカニクス	基礎看護学② 2編-6章-Ⅲ ボディメカニクスの基本 (P320~328)	104-AM-20
		e. 廃用症候群の予防	基礎看護学③ 4編-4章-Ⅲ 運動機能の維持・回復のための援助 (P102~105)	102-PM-17
		f. 睡眠	基礎看護学③ 4編-4章-VI 睡眠の援助 (P130~135)	
	D. 清潔	a. 入浴	基礎看護学③ 4編-5章-II-入浴 (P143~148)	
		b. 清拭	基礎看護学③ 4編-5章-VI 全身清拭 (P155~160)	105-PM-19
		c. 口腔ケア	基礎看護学③ 4編-5章-VIII 口腔ケア (P164~167)	105-AM-19
		d. 洗髪	基礎看護学③ 4編-5章-VII 洗髪 (P160~163)	105-PM-18
		e. 部分浴	基礎看護学③ 4編-5章-Ⅲ 手浴 (P148~151), IV 足浴 (P151~153)	
		f. 陰部洗浄	基礎看護学③ 4編-5章-V 陰部洗浄 (P153~155)	
		g. 整容	基礎看護学③ 4編-5章-IX 整容 (P168~169)	102-AM-17
		h. 寝衣交換	基礎看護学③ 4編-5章-X-B 寝衣交換 (P170~175)	103-PM-18
15. 患者の安全・安楽を守る看護技術	A. 療養環境	a. 病室環境	基礎看護学③ 4編-1章-I 環境の諸要素とその調整 (P2~9), II-A 病室の環境調整 (P9~10), II-B 色彩と備品の調和 (P10)	105-AM-20
		b. 共有スペース	基礎看護学③ 4編-1章-I-A-1 共有スペース (P2~3)	
		c. 居住スペース	基礎看護学③ 4編-1章-I-A-2 居住スペース (P3~6)	
	B. 医療安全対策 106-AM-10	a. 転倒・転落の防止	基礎看護学② 2編-5章-Ⅲ-D 転倒・転落防止 (P299~300), Ⅲ-E 療養環境における危険防止 (P300~302), 統合と実践①医療安全 2章-II-K 転倒・転落の事故防止対策 (P219~224)	103-PM-19
		b. 誤薬の防止	基礎看護学② 2編-5章-Ⅲ-B 誤薬防止 (P290~295), 基礎看護学③ 5編-3章-I-B 薬物療法における看護師の役割 (P250~251), I-C 薬物療法を受ける患者の援助 (P251~253), 統合と実践①医療安全 2章-II-B 与薬 (内服薬, 注射・点滴)に関するインシデントと事故防止 (P186~191)	104-PM-9
		c. 患者誤認の防止	基礎看護学② 2編-5章-Ⅲ-A 患者の誤認防止 (P288~290), 統合と実践①医療安全 2章-II-A 患者確認におけるインシデント (患者誤認)と事故防止対策 (P180~185)	106-PM-7

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
15. 患者の安全・安楽を守る看護技術	B. 医療安全対策	d. 誤嚥・窒息の防止	統合と実践①医療安全 2章-II-N-3 誤嚥・窒息 (P229)	
		e. 情報伝達と共有・管理	統合と実践①マネジメント 1編-1章-II 情報の発生・伝達・管理 (P9~16), 2章-III-C 情報の伝達・共有の方法 (P41~45), 2編-5章-I 複数患者を受け持つための情報収集・管理 (P82~89)	
	C. 感染防止対策	a. 標準予防策(スタンダードプリコーション)	基礎看護学② 2編-4章-I-2 感染予防策の基礎知識 (P232~237), 統合と実践①医療安全 2章-III-C 標準予防策と感染経路別予防策 (P231~232)	106-PM-15, 102-AM-18
		b. 手洗い(手洗いの方法)	基礎看護学② 2編-4章-IV-A 手洗い (P251~257)	
		c. 無菌操作	基礎看護学② 2編-4章-IV-C 滅菌物の取り扱い (P264~270)	
		d. 滅菌と消毒	基礎看護学② 2編-4章-III 感染源への対策 (P240~250)	106-AM-21
		e. 針刺し・切創の防止	基礎看護学② 2編-4章-IV-E 針刺し・切創事故防止 (P275~277)	105-AM-40
f. 感染性廃棄物の取り扱い	基礎看護学② 2編-4章-IV-D-2 感染性廃棄物の取り扱い (P272~274)	103-AM-18		
16. 診療に伴う看護技術	A. 栄養補給	a. 経管・経腸栄養法	基礎看護学③ 4編-2章-IV 経腸栄養(経管栄養, 胃瘻栄養) (P38~47), 統合と実践①医療安全 2章-II-G 経管栄養(経鼻胃管・胃瘻カテーテル)におけるインシデントと事故防止対策 (P208~210)	105-PM-21, 104-PM-22
		b. 経静脈栄養法	基礎看護学③ 4編-2章-V 中心静脈栄養 (P47~50), VI 末梢静脈栄養 (P51~54), 統合と実践①医療安全 2章-II-I ライン・チューブ・カテーテルの種類別インシデントと防止対策 (P213~217)	103-PM-20
	B. 薬物療法	a. 与薬方法	基礎看護学③ 5編-3章 与薬・輸血の技術 (P243~309), 成人③循環器 2編-3章-II-A 薬物療法 (P362~364), 統合と実践①医療安全 2章-II-B 与薬(内服薬, 注射・点滴)に関するインシデントと事故防止対策 (P186~191)	105-AM-22, 105-PM-22, 104-AM-21
		b. 薬効・副作用(有害事象)の観察	基礎看護学③ 5編-3章-I-A-2 薬物の体内動態 (P245~246), I-A-3 薬物の作用 (P246~247), 成人③循環器 2編-3章-II-A 薬物療法 (P362~364)	104-AM-22, 103-AM-19
	C. 輸液・輸血管理	a. 刺入部位の観察	基礎看護学② 2編-5章-III-C-4 点滴漏れの要因と対策 (P296~297), 基礎看護学③ 5編-3章-IV-F 点滴静脈内注射 (P292~297)	105-AM-21
		b. 輸液ポンプ、シリンジポンプ	基礎看護学③ 5編-3章-IV-G 輸液ポンプの操作 (P297~299), 基礎看護学④ 6章-V-9 輸血ポンプ (P351~352), 成人③循環器 2編-3章-II-A-1-1) 輸液管理において注意すべきこと (P363), 統合と実践①医療安全 2章-II-D 輸血ポンプとシリンジポンプ使用時のインシデントと事故防止対策 (P195~198)	104-PM-23
		c. 点滴静脈内注射	基礎看護学③ 5編-3章-IV-F 点滴静脈内注射 (P292~297)	106-AM-22, 106-PM-17, 103-PM-23, 102-PM-18
		d. 輸血	解剖生理学 2章-IV-A-3 血液型と輸血 (P46~48), 現代医療論 3章-III-A-2-3-3) 輸液と輸血 (P134), 基礎看護学③ 5編-3章 与薬・輸血の技術 (P244~307)	
	D. 採血	a. 刺部位	基礎看護学③ 5編-4章-III-A 血液検査 (P318~325)	103-AM-20
		b. 採血方法	基礎看護学③ 5編-4書-III-A-2 採血の方法 (P318~325)	104-AM-23, 102-AM-25
	E. 電法	a. 電法の種類と適応	基礎看護学③ 5編-1章-VII-A 体温管理・保温の基礎知識 (P209~210)	103-PM-22, 102-PM-19
		b. 温電法	基礎看護学③ 5編-1章-VII-C 温電法 (P213~215)	105-PM-23
		c. 冷電法	基礎看護学③ 5編-1章-VII-B 冷電法 (P210~212)	106-PM-23

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
16. 診療に伴う看護技術	F. 呼吸管理	a. 酸素療法の原則	基礎看護学③ 5編-1章-IV 酸素吸入療法 (P196~203), 成人②呼吸器 1編-3章-III-C 酸素療法 (P122~129), 2編-3章-II-C 酸素療法 (P339~342)	103-AM-21
		b. 酸素ボンベ	基礎看護学③ 5編-1章-IV 酸素吸入療法 (P196~203)	
		c. 酸素流量計	基礎看護学③ 5編-1章-IV 酸素吸入療法 (P196~203)	105-AM-24, 104-PM-24
		d. 鼻腔カニューレ	基礎看護学③ 5編-1章-IV-B 酸素吸入療法の方法 (P198~203), 基礎看護学④ 4章-II-D-1-3-3) 酸素療法 (P129~130), 成人②呼吸器 1編-3章-III-C-5-1) 鼻カニューレ (P125)	
		e. 酸素マスク	基礎看護学③ 5編-1章-IV 酸素吸入療法 (P196~203), 基礎看護学④ 4章-II-D-1-3-3) 酸素療法 (P129~130), 成人②呼吸器 1編-3章-III-C-5-2) ベンチュリー・マスクと酸素マスク (P125)	
		f. ネブライザー	基礎看護学③ 5編-3章-III-E 吸入法 (P266~270), 成人②呼吸器 1編-3章-III-B-2-1) ネブライザー (P120)	
		g. 口腔内・鼻腔内吸引	基礎看護学③ 5編-1章-III-B-2 口腔や鼻腔から行う一時的吸引の方法 (P189~193)	105-PM-24
		h. 気管内吸引	基礎看護学③ 5編-1章-III-B-3 気管切開・気管挿管している患者に行う一時的吸引の方法 (P193~195), 成人②呼吸器 2編-3章-II-D 気管吸引 (P342~344)	106-AM-23, 103-PM-23, 102-AM-19
		i. 体位ドレナージ	基礎看護学③ 5編-1章-III-A 体位ドレナージ・スクイーミング・他 (P187~188)	104-AM-24
	G. 救命救急処置	a. 気道の確保	基礎看護学③ 5編-5章-II-B-2 1次救命処置の方法 (P362~367), 成人②呼吸器 1編-3章-III-D-2 気道確保法 (P130~131)	
		b. 人工呼吸	基礎看護学③ 5編-5章-II-B-2 1次救命処置の方法 (P362~367)	
		c. 胸骨圧迫	基礎看護学③ 5編-5章-II-B-2 1次救命処置の方法 (P362~367)	
		d. 直流除細動器	基礎看護学④ 6章-V-7 除細動器 (P349~350)	104-PM-25
		e. 自動体外式除細動器 (AED)	基礎看護学③ 5編-5章-II-C AEDを用いた除細動 (P368~369)	102-PM-20
		f. 止血法	基礎看護学③ 5編-5章-III 止血法 (P370~374)	
		g. 体温管理	基礎看護学③ 5編-1章-VII 体温管理・保温の援助 (P209~215)	
		h. トリアージ	統合と実践②災害看護学 4章-IV-A トリアージ (P150~151), V トリアージ (P152~163)	106-AM-25, 102-PM-21
	H. 皮膚・創傷の管理	a. 包帯法	基礎看護学③ 5編-2章-III-B 包帯 (P223~230)	106-AM-24
		b. 創傷管理	基礎看護学③ 5編-2章-I 創傷の管理基礎知識 (P218~220), II 創傷の観察 (P221), III 創傷の処置 (P222~232)	103-AM-22
		c. 褥瘡の予防・処置	基礎看護学③ 5編-2章-IV 褥瘡の予防 (P233~241)	102-AM-20